

【タイトル】 新春講演会・賀詞交歓会

【日 時】 平成 24 年 1 月 24 日(火)

【場 所】 アンフェリシオン

【概 要】 他団体や会員含め、約 200 名が参加して行われた。

講師にコンディショニングコーチの立花龍司氏を迎え「一流に学ぶメンタルトレーニング」と題して、講演会が行われた。



立花氏は複数のプロ野球球団のコンディショニングコーチとして、選手の体力面やメンタル面の強化などの仕事携わった経験に基づき講演され、それは次のように会社組織でも通用する示唆に富む内容であった。

ある年のパリーグの天王山ともいえる対戦で相手先発投手の高めのボールを打っても安打になる確率は極めて低いので、監督は選手に対して「高めのボールは打つな」とネガティブの命令を出した。

選手はその命令どおりにしたもの、低めボールへのバットコントロールが鈍くなり、相手投手を打ち崩せずに完封負けという結果に終わった。

逆に監督が「高めのボールを捨てて、低めのボールを積極的に打て」とポジティブな命令を出していれば、選手は低めのボールに集中することによって、相手投手を打ち崩すことも考えられ、また違った結果が出た可能性もある。人間は、ポジティブな命令には、最大限の能力を発揮する特性を持ち合わせている。

また、ある監督はワンマンで、コーチなど周囲の者からの意見は聞く耳を持たない。その結果として、その監督は在任中に常に下位に低迷することとなった。即ち、上役の立場にある者は、部下からの意見を聞いて、よいものを採り入れていかないと組織は弱体化するという一例である。



講演会終了後は、江東東税務親和会の主催による新年賀詞交歓会が開かれ、席上、当会が一昨年に創立60周年を迎え、その記念事業の一環として江東区に街路樹10本を寄贈したことに對して、来賓の山崎江東区長から感謝状が当会に贈呈された。

